

所沢南部地区歴史探訪

2025. 2. 27 記 小暮 恒二

- *実施日：令和7年（2025）2月20日（木）
- *場 所：北秋津、東村山市秋津町
- *集 合：所沢駅東口マクドナルド前集合：9時20分
- *参加者：21名

1 計画した日程・コース

所沢駅東口発 9:30・・・持明院 9:55 着 10:05 発・・・北秋津富士塚・・・
・・・日月神社 10:25 着 10:35 発・・・大堀山館跡・・・光あまねしの碑 10:55 着・・・
・・・一石六地藏（地藏堂墓地）・・・秋水園ふれあいセンター11:30着11:40発・・・
・・・淵の森11:55着12:15発・・・秋津公園・秋津神社 12:30 着 12:40解散

- *所沢南部地区として、吾妻地区の北秋津を中心に史跡等を巡るコースを設定しました。
- *柳瀬川に面した台地の淵には武士の館跡があります。狭山丘陵の東側にあり、江戸時代には田無宿と所沢宿をつなぐ江戸道が開かれ、人や馬を休ませる立場茶屋を立てることが許され交通の要衝としてにぎわっていました。現在も鉄道が3路線とあり、所沢街道、府中街道など東京へ向かう動脈が集中している地域です。

2 実施状況

- ・寒波襲来で最高気温が8℃の予報であったが、風がほとんどなく日差しの温かさが感じられる日であった。
- ・余裕を持たせた行程としていたので、秋津神社での解散は12:10と早まった。
- ・所沢市史等の書籍、所沢市・東村山市のホームページを参考に、「コースの見どころ」を資料にまとめ、配付した。

《コース解説》

所沢駅から住宅街の細い道を最短ルートで約20分、所沢七福神の幟がみえてくる。七福神1番札所の持明院（じみょういん）、この寺は、かつては秋津村の中央にある日月神社に隣り合って、松根寺として創建されたと言われている。享保6年（1721）賢心上人のとき、寺を曼荼羅堂のあった山の上に移して名も持明院に改めたと言われている。

持明院の境内から15mほど下に柳瀬川がつくる深い淵があり、曼荼羅淵（まんだらぶち）と言われている。ここは、伊草（比企郡川島町）の袈裟坊と笹井（狭山市）の竹ヶ淵と並んで、河童のすみかと言われており、「かっぱの詫び証文」の伝説が伝わる。

持明院を出て県道を渡り、東に進むと「百番拝礼塔」が建っていた。塔の上部に「西国坂東秩父」とあり、百観音巡礼の石碑であろう。

日月神社への道に面し「北秋津富士塚及び富士講記念碑」がある。小規模な富士塚と富士講記念碑があり、富士講の盛んであったことがわかる。

日月神社（じつげつじんじゃ）は、秋津村（今は北秋津と南秋津になっている）の鎮守の社で、天照大神（アマテラスオオミカミ）、農業の神の月読命（ツクヨミノミコト）の2柱の神がまつられている。この社の創建は記録等がないが、大堀山館の裏鬼門の坤（ひつじさる・西南）の位置



日月神社：やどりぎ伝説のご神木

にあることから館の主が、館や郷を守護する鎮守神をお祀りし庇護してきたのが始まりとの説もある。ご神木（ケヤキにエノキのやどりぎ）には、「とんぼのやどり木」の伝説が伝わる。

日月神社の信号を東に向かう道は、引又（志木市）に通じることから引又道（ひきまたみち）と呼ばれている。引又道を50メートルほど進み左側を見ると、小高くこんもりしている櫓林がみえる。中世の館跡、大堀山館跡である。この館は、南に柳瀬川をのぞみ、北は台地のふちで見晴らしがよく、自然の地形を活かしてつくられている。館の周囲に築いた土や石の囲いは、東西約90m、南北が東側で約35m、西側で約70m台形をしていたという。館の形から室町中期（15世紀初め）か、それより少し前に作られたものであると考えられている。今は周りの宅地開発が進み、土塁や空堀に近づくことができないのが残念である。引又道から地形を見て当時の館を想像した。

引又道から南に住宅街を進む。柳瀬川を渡った所に、「光あまねしの碑」がある。詩人の草野心平氏は昭和38年から秋津に住み、あたりを自然のままという意味の「五光」と命名した。その後、秋津橋のもとに氏の筆により「光あまねし」の木柱を立てられたがその墨痕も薄くなったため、昭和56年11月に地域の人々により、石の記念碑が立てられたとのこと。「蛙の詩人」と呼ばれた草野心平氏の代表的な詩『春のうた』を紹介した。



光あまねしの碑

光あまねしの碑から南へ進み、地藏堂墓地にある「一石六地藏」を見学。六角石柱の各面に、蓮座にのった地藏立像が浮彫りにされているちょっと珍しいお地藏様である。

光あまねしの碑まで戻り、秋水園ふれあいセンターを經由して、「淵の森緑地」へ進む。淵の森緑地は、東京都東村山市と埼玉県所沢市にまたがる約7,000平方メートルの樹林地で、柳瀬川沿いに広がるこの森は、昔ながらの自然が残されており、宮崎駿監督がアニメ映画「となりのトトロ」のアイデアを練った場所として知られている。樹林地内の散策路を歩き、河原に下り、豊かな自然を体感した。



淵の森緑地にて

淵の森緑地から西武池袋線沿いに秋津駅方面に進む。秋津公園の横にトンネルが見える。JR武蔵野線から西武線につながる貨物線と、鉄道が貨物輸送の多くを担っていた時代が偲ばれる。ここを過ぎると右側に秋津神社。本殿に施されている精巧な彫刻を堪能した。

3 参加者の感想等

- ・ここに館跡があったことなど初めて知ったことが多かった。
- ・大堀山館と神社や寺院のつながりがあるようで、館があった時代から賑わっていたのだと感じられた。
- ・宮崎駿さんをはじめとする多くの方の尽力で、貴重な自然が残されて良かった。感謝している。
- ・秋津村が南と北に分かれて南側は東村山市秋津町になっているが、柳瀬川が境界ではなく入り組んでいるのがわかった。かつての川の流れが今とは異なっていたのだろうと思った。

《参考文献》

- ・「北秋津ものがたり」北秋津郷土史の会著 平成17年7月1日発行
- ・「ところざわふるさと散歩」所沢市民俗研究会企画編集、昭和48年10月1日所沢市中央公民館発行
- ・所沢市ホームページ
- ・東村山市ホームページ

担当 C グループ：茂出木 正和 粕谷 徹 小暮 恒二